

いちき串木野市における 部活動の地域展開等

～地域とともに伴走する部活動の在り方～

1 はじめに

いちき串木野市は、鹿児島県の西部に位置し、東シナ海に面した美しい海岸線と豊かな自然に恵まれた街です。古くから遠洋マグロ漁業の基地として全国的に知られ、伝統的な「さつま揚げ」や名物の「串木野まぐろラーメン」など、独自の食文化が息づいています。また、幕末に薩摩藩の英国留学生 19 人が渡欧した地としても知られています。このように、多様な観光資源と食文化が大きな魅力です。

全国的な傾向と同様に、本市でも少子高齢化と人口減少が進行しています。この変化は中学校の教育現場にも直接的な影響を与えており、生徒数の減少に伴って従来の「学校単位での部活動」を維持することが年々困難になってきました。生徒が希望する部活動が学校にないケースや、部員不足により単独校での大会出場が叶わない事例が発生しています。更に、教職員が専門外の種目を指導せざるを得ない状況や、休日の引率による長時間勤務といった「教員の働き方改革」への対応も待ったなしの状況です。

このような背景から、いちき串木野市教育委員会では、子供たちが将来にわたり持続的にスポーツや文化芸術活動に親しめる環境を確保し、同時に学校教育の質的向上と教職員の負担軽減を両立させるため、部活動の「地域移行（展開）」への取組を始めました。

2 目指す部活動の地域展開等

本市が推進する部活動の地域展開等は、単に「学校の役割を地域に移行する」というものではありません。学校と地域が協働し、地域全体で子供たちを育てる持続可能な環境づくりを目指しています。

本市の掲げる地域展開等の大きな方向性は、以下の3つの柱で構成されています。

(1) 子供たちの選択肢と機会の確保

少子化が進む中でも、子供たちが多様なスポーツ・文化活動に親しめる環境を作ること。

(2) 持続可能な運営体制の構築

教職員の異動に左右されない、地域が主体となった持続可能な指導体制を整備すること。

(3) 教職員の働き方改革の推進

休日の部活動指導を地域の指導者へ委ねることで、教職員の負担軽減を図ること。

これらを実現するため、本市では行政、学校、関係団体が一体となった体制づくりを進めています。

3 具体的な取組とモデル校の実践

本市では、着実な地域展開等を進めるため、段階的

に実証事業を活用した部活動の地域移行（展開）を進めてきました。

(1) 地域部活動推進協議会の設置と実態把握

令和5年度から、関係団体（市スポーツ協会、市スポーツ少年団、市文化協会等）を交えた「いちき串木野市地域部活動推進協議会」を設置し、実証事業におけるモデル校の選定やスケジュールの策定、課題の拾い上げを行ってきました。また、生徒・保護者・教職員を対象にしたアンケート調査（Google フォーム等を活用）を実施し、調査対象者の期待や不安（移動手段や費用負担、指導者の質など）を細かく分析しました。



【写真1】地域部活動推進協議会の様子

【生徒へ】部活動の地域展開に期待すること
(複数回答)

	内 容	%
1	特になし	55
2	専門的な指導	30
3	技術力の向上	28
4	練習施設・設備の充実	23
5	レベルに合った活動	20
5	他校の生徒と交流	20

【図】地域部活動通信
(アンケート結果)

(2) モデル校における休日部活動の地域展開

令和6年度は市来中学校、令和7年度は串木野中学校をモデル校に指定し、休日における部活動の地域移行（展開）を進めてきました。市来中学校では、5つの部活動において、休日における部活動の地域移行をスタートさせました。更に、串木野中学校でも10の部活動での実践へ広げています。

(3) 受け皿の整備と情報提供

地域のスポーツ団体や文化協会加盟団体などへのヒアリングを行い、「中学生の受け入れが可能な団体リスト」を作成しました。これを「地域部活動通信」等を通じて市内の全中学生や保護者へ情報提供し、学校外での活動の選択肢が見える化しています。

4 指導体制の確立と安心安全への配慮

部活動を地域へ展開するにあたり、最も重要となるのが「誰が教えるのか」という指導者の確保と、その「質・安全性の担保」です。

(1) 地域クラブ活動の指導者の委嘱

本市では「いちき串木野市地域部活動指導者設置規則」を制定し、指導体制の法的・制度的な基盤を整えました。スポーツや文化活動の専門的な知識・技能を有し、学校教育への理解がある人材を教育委員会が直接委嘱しています。これにより、専門的な指導による生徒の技術力向上という、生徒や保護者からの高い期待に応えています。



【写真2】地域クラブの活動の様子（弓道）



【写真3】地域クラブの活動の様子（女子ソフトテニス）

(2) 合同研修会の開催と資質向上

指導者と保護者、あるいは学校関係者が一堂に会する合同研修会を定期的に行っています。研修では、市からの今後の方針説明だけでなく、専門家等を招いた「熱中症予防策」や「食育の重要性」といった、生



【写真4】指導者及び保護者の合同研修会の様子



【写真5】市スポーツ少年団本部等合同指導者研修会の様子

徒の安全と健康を守るための具体的な講義を行っています。市スポーツ少年団等と連携した指導者研修への参加も促し、地域全体で指導者の質の底上げを図っています。

(3) 学校と地域指導者との連携

指導者が孤立しないよう、学校の校長や部活動顧問と日常的な情報共有を行う仕組みを設けています。指導内容や生徒の様子、万が一の事故発生時の対応について十分に連携・協力できる体制を構築し、学校教育の延長線上としての安心感を維持しています。

なお、希望する教職員については「兼職兼業」の手続きを経て、休日に地域指導者として指導に関わることも可能としています。

生徒や保護者、顧問、指導者からのアンケート結果やヒアリングから得られた生の声を丁寧に受け止め、検証を重ねてまいります。

少子化という大きな社会の変化を、単なる「縮小」として捉えるのではなく、地域全体で子供たちの多様な成長を支え、市民が生涯を通じてスポーツや文化芸術に親しむ「持続可能な地域社会づくり」のチャンスに変えていくことが、いちき串木野市が目指す未来への展望です。

今後も、学校、家庭、そして地域が一丸となり、本市の未来を担う子供たちのために、よりよい環境づくりを推進していきます。

5 おわりに

これまでのモデル校の実践や実証事業を通じて、本市の部活動の地域展開等は着実な一步を踏み出しましたが、全面的な地域展開に向けては解決すべき課題もまだ残されています。

学校部活動の運営主体・実施主体の完全移行を見据えた体制整備をより一層図るため、今後の主な課題として、以下の3点が挙げられます。

- 受益者負担（費用）のあり方：会費や保険料などの保護者負担を適正な範囲に抑え、経済的理由で活動を諦める生徒が出ないようにする仕組みづくり。
- 平日の地域展開の実践へ向けての取組：平日の地域展開に向けての指導者の確保。
- 指導者の継続的な確保と配置：特定種目における指導者不足の解消や、地域部活動コーディネーターの機能強化。

いちき串木野市教育委員会は、これらの課題に対し、